

平成 19 年 9 月 27 日

各 位

株式会社 近畿大阪銀行

生体認証対応および視覚障害者対応 A T M の設置拡大について

りそなグループの近畿大阪銀行（社長：桔梗 芳人）は、平成 20 年 1 月末までに**全本支店の全 A T M（551 台）を生体認証（指静脈認証）対応 A T M に変更**いたします。これは、近畿の地方銀行では初めての取組です。併せて、同月末までに、音声ガイダンスに従い操作する**視覚障害者対応 A T M を、A T M のある全有人店舗（134 店）に設置**してまいります。

1. 導入経緯

当社では、盗難・偽造キャッシュカード対策を重要な課題と捉え、従来より「生体認証 I C キャッシュカード」を初めとして「カードロックサービス」や「A T M ご利用限度額個別設定サービス」など、さまざまな取組を実施してまいりました。今回、お客さまにより一層安全・便利にご利用いただくために A T M 全台を生体認証対応 A T M とすることといたしました。

2. 当社の A T M 設置店舗数（19 年 9 月 27 日現在）

- ・有人店舗数：134 店（ ）（ A T M 設置：501 台）
- ・無人店舗数：27 店 （ A T M 設置：49 台）

（ ）当社の全有人店舗数は136店ですが、東京支店・名古屋支店には A T M の設置がありません。

3. 生体認証対応 A T M の導入状況・予定

	全 ATM 台数	対応 ATM	設置率	
19 年 3 月末現在	542 台	249 台	46%	ATM 設置店舗各 1 台以上
19 年 9 月 27 日現在	550 台	459 台	83%	
20 年 1 月末予定	551 台	551 台	100%	ATM 設置店舗全台対応

4. 視覚障害者対応 A T M の導入状況・予定

	全 ATM 台数	対応 ATM	設置率	
19 年 3 月末現在	542 台	176 台	32%	
19 年 9 月 27 日現在	550 台	386 台	70%	
20 年 1 月末予定	551 台	478 台	86%	全有人店舗各 1 台以上

以 上

【ご参考】近畿大阪銀行における偽造・盗難カード被害への主な取組み

取組み事項	開始年月
注意喚起のHP掲載による啓発	平成16年3月
注意喚起ポスターやチラシ掲示	平成16年4月
被害届出提出ルールの制定等	平成16年6月
ATMへの後方確認ミラーの設置	平成16年12月
偽造カード被害の補償開始	平成17年3月
ATMご利用限度額の一律引下げ(200万円)	平成17年3月
ATMへの覗き見防止ツールの導入 (セキュリティスクリーン設置)	平成17年3月
ATMご利用限度額の個別設定サービスの導入	平成17年8月
盗難カード被害の補償開始 (17年11月14日以降の被害)	平成17年11月
盗難カード被害の補償開始 (17年11月13日以前の被害)	平成18年2月
カードロックサービスの導入 (モバイル端末)	平成18年3月
生体認証ICキャッシュカードの導入	平成18年10月10日
生体認証対応ATMの全台対応	平成20年1月末予定